蝶と蛾 *Tyô to Ga*, **37** (2): 85－95, 1986

アンボン島（インドネシア）で採集したチョウ（補遺）

加藤信一郎

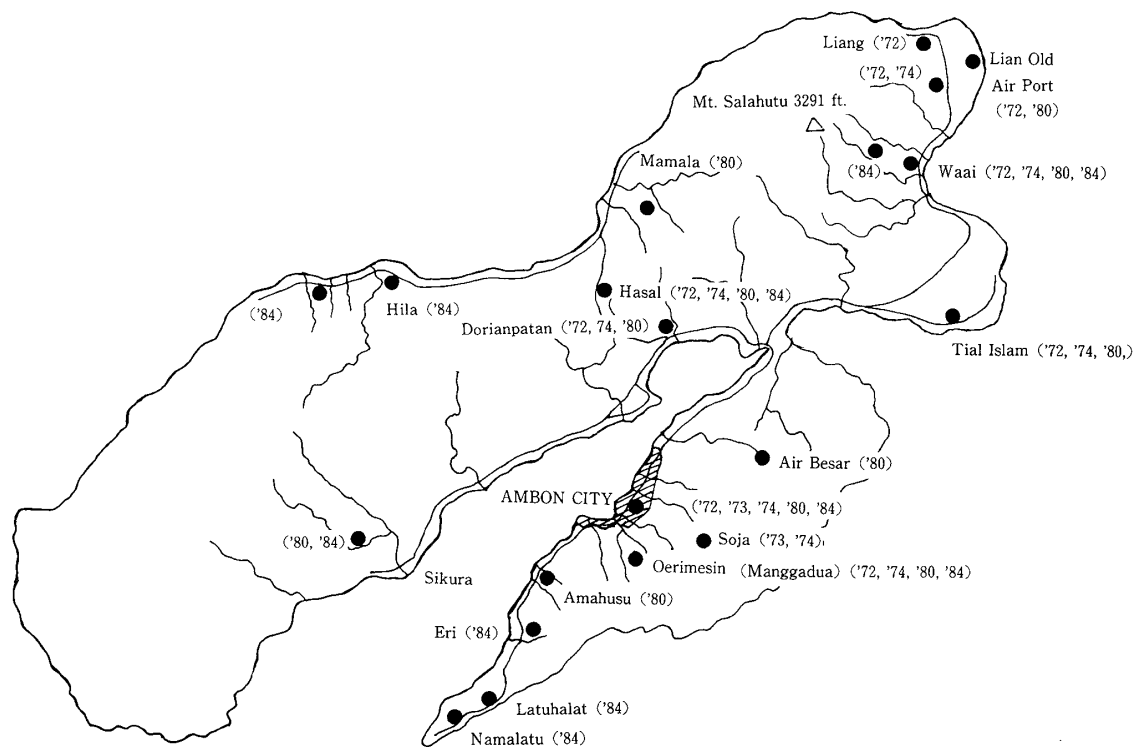
〒665 兵庫県宝塚市清荒神 4－13－20

Notes on the Butterflies from Ambon Island, Indonesia (Supplement)

Shin-ichiro KATO: 4－13－20, Kiyoshikojin, Takarazuka-city, Hyogo, 665 Japan

筆者は1984年10月アンボン島（インドネシア）で第4回目の同島産チョウの調査を行なった．既報の採集種に加えて，前回の分も含め今回新たに採集できた種，*Papilio ulysses* の雌および *Hypolimnas bolina* の異型個体について補足報告する．また前回隣接するセラム島カマリアン村に4日間滞在したが，その時の採品の中でアンボン島で採集できなかった種についても参考までに併記した．

滞在中はスコールが2度あったほかは，ときどき雲が広がる程度で晴天が続いた．室温は朝方は26℃まで下るが，日中は30℃を超す暑さで，雨季から乾季に移行する時期であった．

これまでに乾季，雨季およびその移行期のアンボン島に生息するチョウの発生・生息状態および季節変異について観察することができた．得られた知見については，種別に報告してきた（加藤, 1974, 1976, 1977, 1978, 1979, 1980, 1982, 1983）．この報告書ではアンボン島の採集結果を季節別リストにまとめて，チョウの発生の概要を把握する資料とした（Table 1）．

Main sites investigated on Ambon I. ( ) shows visited year.

森下和彦氏所蔵の標本と比較検討させて頂いた結果，その中で，*Euploea batesi* については，既報の *E. latifaciata* ssp.（加藤，1979）が，*E. batesi* FELDER であると認められたのでそのように訂正した．アンボン島で採集したチョウは総計 8 科 59 属 106 種であった．採集は筆者のほかに，第 1，2 回には息子の加藤暢也が同行して行った．なお，これまでの報告では便宜上島内の採集位置を示すにとどめたが，改めて調査年別採集地名図を添付して調査地点を明確にした．

報告に先立って，最初の報告から継続して懇切なご指導を賜ってきた故日浦勇氏，また渡島の都度お世話になった在アンボン日本国名誉領事の故 A. de LIMA 氏に心からお礼を申しあげる．川副昭人氏にはいろいろと適切なご教示を賜わり，大阪市立自然史博物館の宮武，金沢両氏には貴重な文献を再三にわたり閲覧させて頂いた．併せて深謝申しあげる．

Papilionidae アゲハチョウ科

1．*Troides hypolitus hypolitus* CRAMER サビモンキシタアゲハ（Figs. 1, 2）

南北モルッカ，スラウェシ，スラ諸島のいわゆるワラセアの中心部に分布する．アンボン島では，*T. oblongomaculatus* パプアキシタアゲハは普通に見られるが，本種ははるかに少ない．採集場所は島北部の南西海岸に注ぐ河川の中流の河岸である．採品は新鮮な 1♂で，午後の活動期に一定のコースを旋回して訪花していた．前翅長は 92 mm．開長は 142 mm．

2．*Papilio ulysses ulysses* LINNAEUS オオルリアゲハ（Figs. 3, 4）

今回始めて 2♀を採集した．島北部の東海岸と北海岸のいずれも海岸に近いヤシ林内を単独飛翔中の飛び古した固体である．なお発生頭数は少なくかつ局地的であると考えていたが，同島では年間を通して発生し，平地の海岸に沿う疎林の林縁・林内から低山地の山腹の開けた斜面に至るまで，島の随所で数多く目撃した．10 月は多発時期に当たっていると思われる．地色は♂♀とも幻色を帯びた青色だが，紫色に近い個体が混じる．前翅長は 67，約 70 mm，開長は 116 mm，約 120 mm．

*3．*Graphium eurypylus eulypylus* LINNAEUS ユーリピラスタイマイ（Figs. 5, 6）

採集場所は，セラム島カマリアンの村落に接する広けた原野で，よく茂った樹木に囲まれ，小花をつけた草むらが散在していた（加藤，1981）．採品は 1♀のみでアンボン島ではまったく目撃しなかった．本種はアジア大陸南部からマレー島嶼部を経てニューギニア，オーストラリアまで，広い分布圏をもつ．前翅長は 52 mm．

Pieridae シロチョウ科

1．*Cepora aspasia aspasia* STOLL キシタシロチョウ（Figs. 7, 8）

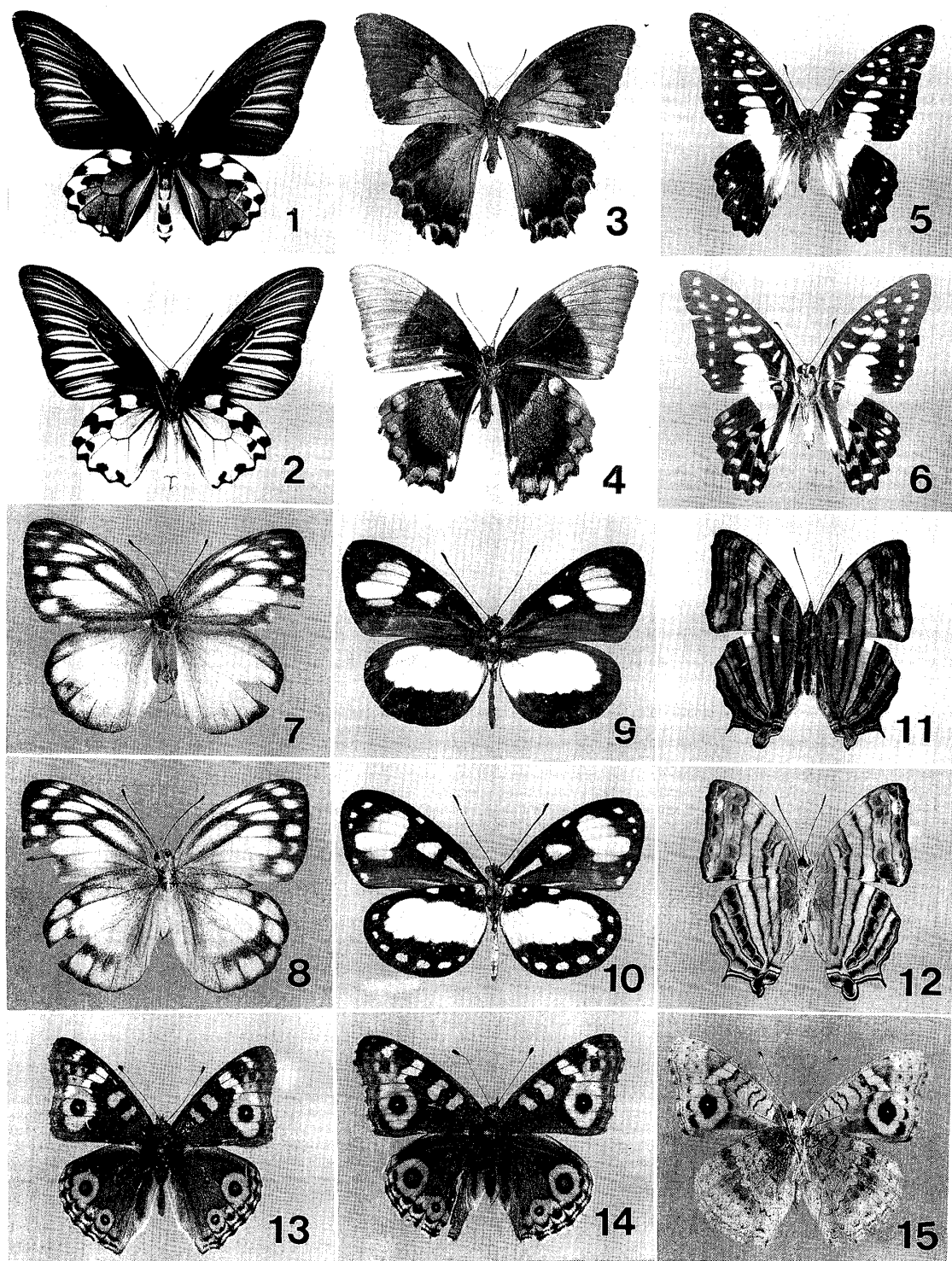
採集場所は島南部の南海岸に接する低山地の林内で，採品の 1♀が同島における唯一の目撃個体である．前翅長は 27 mm．

Danaidae マダラチョウ科

*1．*Tellervo assarica assarica* STOLL シロモンチビマダラ（Figs. 9, 10）

採集場所は，セラム島カマリアンの村落背後の低山地で，山腹を流れる小川沿いの樹木に覆われた薄暗い小道である（加藤，1981）．採品は 1♂のみで，前翅長は 26 mm，カイ島産の *T. zoilus niveipicta* に比べ

---

*セラム島のみで採集されたもの

Figs. 1 – 2. *Troides hypolitus hypolitus* CRAMER. 1. ♂, upperside ; 2. *Ditto*, underside. Figs. 3 – 4. *Papilio ulysses ulysses* LINNAEUS. 3. ♀, upperside ; 4. *Ditto*, underside. Figs. 5 – 6. *Graphium eurypylus eurypylus* LINNAEUS. 5. ♀, upperside ; 6. *Ditto*, underside. Figs. 7 – 8. *Cepora aspasia aspasia* STOLL 7. ♀, upperside ; 8. *Ditto*, underside. Figs. 9 – 10. *Tellervo assarica assarica* STOLL. 9. ♂, upperside ; 10. *Ditto*, underside. Figs. 11 – 12. *Cyrestis thyonneus thyonneus* CRAMER. 11. ♂, upperside ; 12. *Ditto*, underside. Figs. 13 – 15. *Precis villida villida* FABRICIUS. 13. ♂, upperside ; 14. ♀, upperside ; 15. *Ditto*, underside.

て大型，かつ前翅表裏の白色斜帯は大きく，それを構成する各室内斑紋は癒着してとぎれない(加藤，1986)．中室下部に灰黒色の大きな性紋をもつ．アンボン島では1頭も目撃しなかった．稀少と思われる．近接するブル，ミソール，ワイゲオの各島には別亜種が産する．

Nymphalidae タテハチョウ科

1．*Cyrestis thyonneus thyonneus* CRAMER アカサビイシガケチョウ（和名新称）（Figs. 11, 12）

南モルッカの特産種で，アンボン，セラム，サパルアの原名亜種とブル島亜種 *th. buruanus* MARTIN の2亜種を産する．アンボン島では稀少といわれる．島南部のアンボン郊外低山地を流れる小川の水際で，*Gandaca harina* ムモンキチョウなどと混って，吸水に来ていた1♂を採集した．前翅長は29 mm.

2．*Precis villida villida* FABRICIUS サイパンタテハモドキ（Figs. 13－15）

この種は島南部の南海岸を走る道路沿いの荒れ地の雑草に集まっていた．斑紋・色彩は♂♀変わらないが，♀は翅形が幅広く前翅端はやや丸みをもつ．飛翔は迅速で，吸蜜時間は短かく，*P. orithya* アオタテハモドキの♀と習性が酷似する．

本種はオーストラリア系で，東はニューギニア，オーストラリアからフィージー，サモア，タヒチまで，西はカイ，アルー，スンバ諸島からワラス線を越えてジャワ島に至る東西に広い分布圏をもつ．アンボン島からの記録はさがしだすことができなかった．本種は季節により斑紋の変化があり，さらに生息地によりいくつかの型に分けられている．今回新たに記録されたアンボン産がどの型に属するかについては，比較資料がなく今後の調査に待ちたい．採品の♂前翅長は23 mm，♀では25－28 mm.

3．*Hypolimnas alimena alimena* LINNAEUS ルリオビムラサキ（Figs. 16－21）

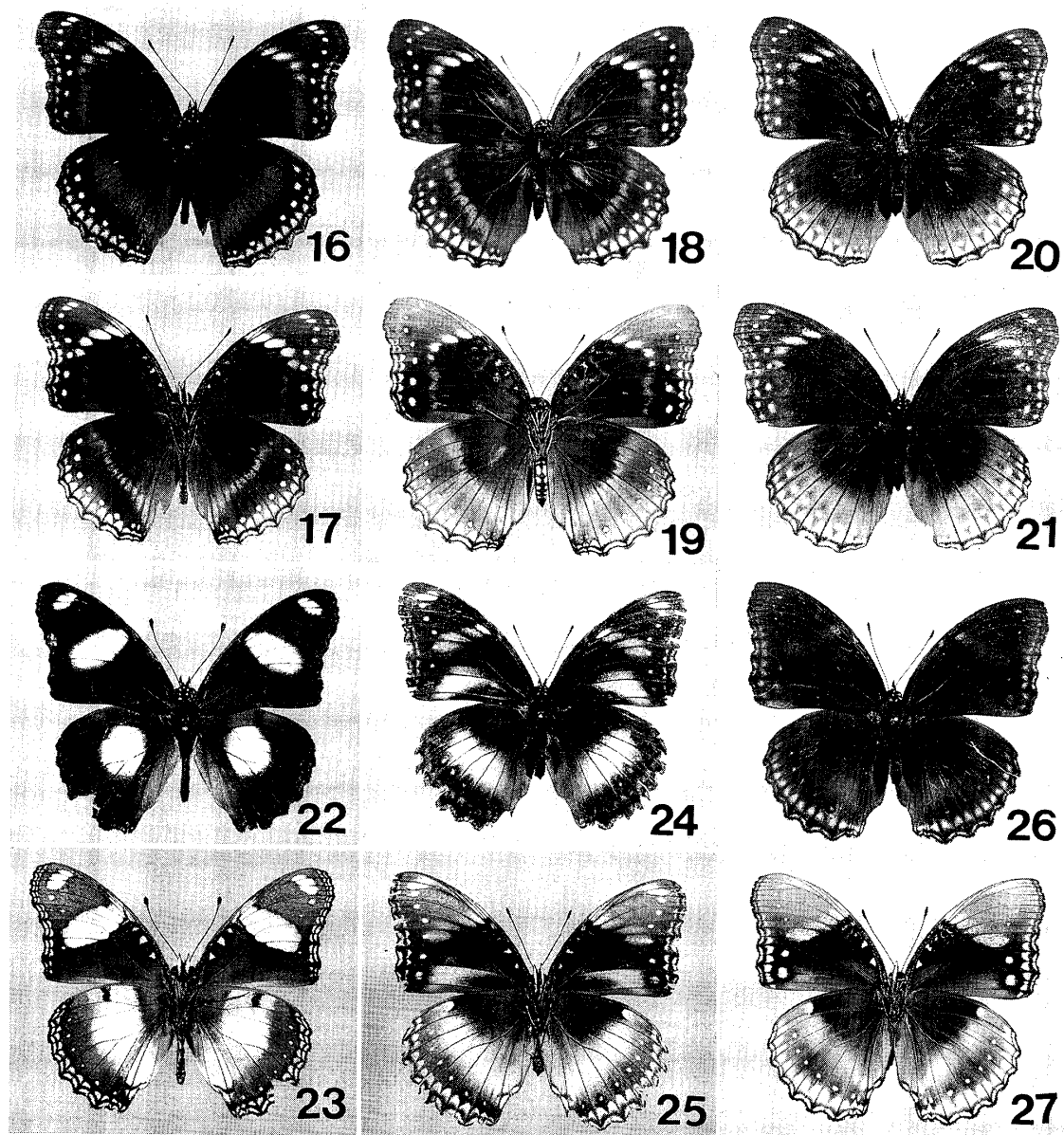
オーストラリア系のチョウで，広範囲に分布し，アンボン産は原名亜種である．3回目の渡島で初めて，島北部の北海岸から谷川沿いに入った低山地で褐色型1♀，セラム島カマリアンの村落に続く疎林の林縁と林内で青色型1♀と褐色型1♀を採集し，今回アンボン島北部の南西海岸から河沿いに入った河岸の疎林々縁で2♂を採集した．南モルッカでは発生が少ないと思われる．翅裏面の地色•斑紋は♂♀および青色型•褐色型♀の間に，*H. bolina* リュウキュウムラサキにあるような個体変異はない(加藤，1978)．♂前翅長は34，44 mm. ♀では青色型43 mm，褐色型43，44 mm.

4．*H. missipus missipus* LINNAEUS メスアカムラサキ（Figs. 22, 23）

島北部東海岸の低木がまばらに生える荒れ地で採集した1♂が唯一の個体であった．前翅長32 mmで矮小である．

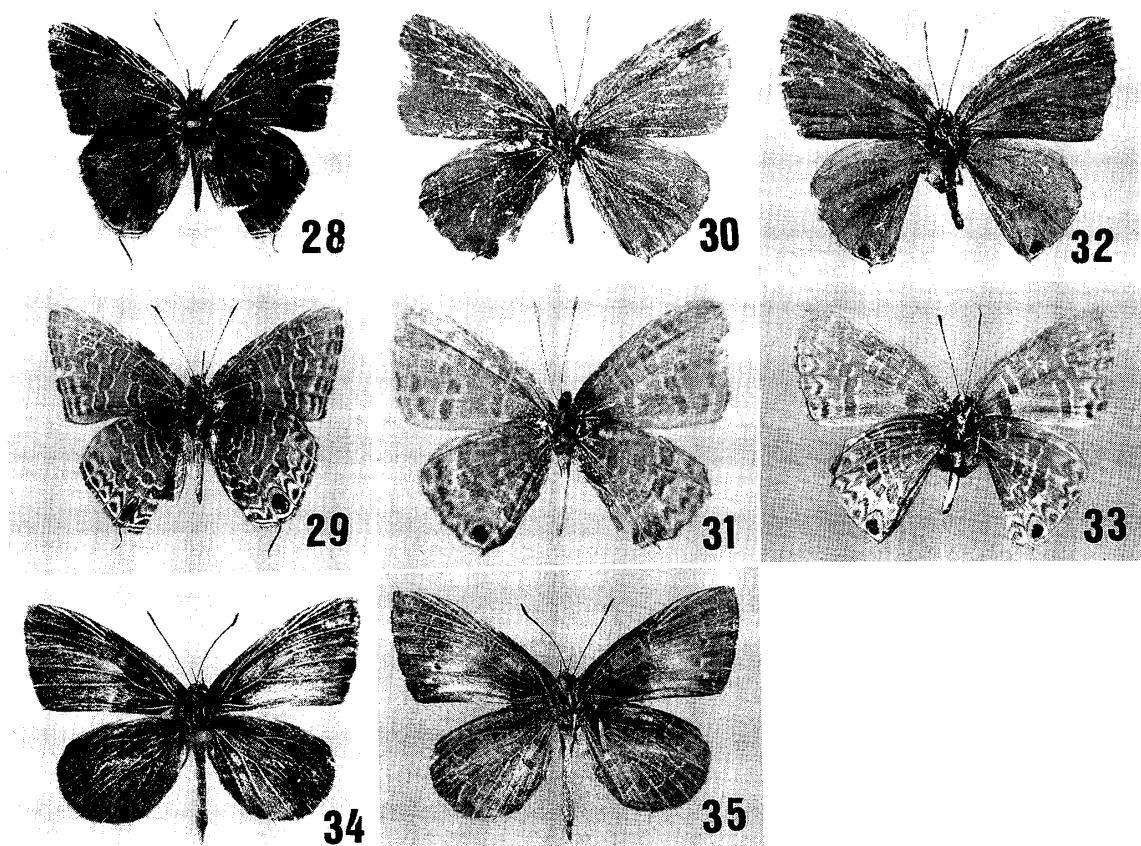
5．*H. bolina lisianassa* CRAMER リュウキュウムラサキ（Figs. 24－27）

既報の採品とは異なる2♀を採集した．1♀は翅形が縦長で，斑紋の発現位置•形状は同島産ジャワ型 *b. bolina* ♀と変わらないが，前翅長は51 mm，はるかに大型で，かつ斑紋と前翅頂の斜帯はすべて橙色で白色を帯びない．f. *eriphile* パンドラ型（加藤，1978：82，Fig. 26A）とは翅形・斑紋とも相異する点があるが，中間的な形も見られるので（D'ABRERA, 1971：222；森下, 1976：18)，個体変異の多いパンドラ型の1型と考えてよいと思う．もう1頭の♀の翅表は無紋で f. *manilia* マダラ型であるが，前翅長の斜帯には青色鱗がまばらに分布し，前後翅の亜外縁沿いの小紋はにぶい橙色を帯びる．前翅長は53 mm.

さらに1♂（前翅長53 mm）を採集したが，採集場所は雌と同様海岸に近い村落の周辺であり，そこではジャワ型の1♂も得られている．

Figs. 16－27. *Hypolymnas* spp. Figs. 16－21. *H. alimena alimena* LINNAEUS. 16. ♂, upperside; 17. *Ditto*, underside; 18. ♀, upperside, blue form; 19. *Ditto*, underside; 20－21. *Ditto*, upperside, brown form. Figs. 22－23. *H. missipus missipus* LINNAEUS. 22. ♂, upperside; 23. *Ditto*, underside. Figs. 24－27. *H. bolina lisianassa* CRAMER. 24. ♀, upperside, f. *eriphile*; 25. *Ditto*, underside; 26. *Ditto,* upperside, f. *manilia*; 27. *Ditto*, underside.

Lycaenidae シジミチョウ科

1. *Ionolyce helicon helicon* FELDER (Figs. 28, 29)

島北部南西海岸に注ぐ河の中流中州の水溜りで吸水中の1♂を採集した．翅表の地色は濃紫色，裏面は暗灰褐色．前翅端はとがり，後翅後角は角張る．前翅長は15 mm.

Figs. 28－29. *Ionolyce helicon helicon* FELDER. 28. ♂, upperside；29, *Ditto*, underside. Figs. 30－31. *Prosotas nora nora* FELDER. 30. ♂, upperside；31. *Ditto*, underside. Figs. 32－33. *Catopyrops ancyra ancyra* FELDER. 32. ♂, upperside；33. *Ditto*, underside. Figs. 34－35. *Miletus boisduvali ceramensis* RIBBE. 34. ♂, upperside；35. *Ditto*, underside.

2．*Prosotos nora nora* FELDER ヒメウラナミシジミ（Figs. 30, 31）

前種と同じ場所で1♂を採集した．同島産 *P. pia* に酷似するが，前翅長は11.5 mm とやや大きく，裏面の波状条紋はやや幅狭いことで区別される．

*3．*Catopyrops ancyra ancyra* FELDER（Figs. 32, 33）

セラム島カマリアンの村落に流れ込む小川のそばの立木の湿った根元で，*Zizina otis* シルビアシジミに混じって吸水中の1♂を採集した．翅表の地色は明るい青紫色，裏面は灰褐色で波状斑紋は白く縁取られる．前翅長は13 mm.

4．*Miletus boisduvali ceramensis* RIBBE（Figs. 34, 35）

本種はスンダランドを中心に，北はシッキムから東はニューギニアに至る広い分布圏をもつ．今回初めて採集できたが，採集場所は島北部中央台地と東海岸から山地帯に入った山腹のいずれも開けた陽地で，小川のそばのまばらな低木の周辺であった．*M. leos* とは住み分けており，かつ局地的で発生頭数は多くないと思われる．採品は♂のみで前翅長は16－19 mm.

Table 1. List of the butterflies collected on Ambon I., based on seasonal classification. Numbers in ( ) are butterflies collected on Seram I., in 2－5. V. 1980

	Numbers of individuals							
	26.XII. 1972 -2.I. 1973. Dry season		4-10. VIII. 1974 Wet season		27. IV-1.V., 6-8.V. 1980 D.s.→W.s.		6-14.,21-26.X. 1984 W.s.→D.s.	
Papilionidae	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
1. *Ornithoptera priamus*	–	1	–	–	–	–(2)	–	–
2. *Troides hypolitus*	–	–	–	–	1	–	–	–
3. *T. oblongomaculatus*	2	2	6	3	1(2)	1(2)	–	–
4. *Pachliopta polydorus*	1	–	–	–	–(5)	–(5)	–	–
5. *Papilio ulysses*	2	–	2	–	–(2)	–	3	2
6. *P. alphenor*	4	2	22	11	–	1	5	3
7. *P. fuscus*	11	11	11	5	2	1	1	3
8. *Graphium agamemnon*	–	–	2	1	–(1)	–	1	2
9. *G. eurypylus*	–	–	–	–	–	–(1)	–	–
10. *G. macfarlanei*	8	6	8	8	4(1)	–(2)	2	–
11. *G. codrus*	–	1	–	1	–	–(1)	–	–
12. *G. sarpedon*	1	1	–	–	–(1)	–(1)	–	–
Pieridae								
1. *Delias isse*	1	–	1	2	–	–	8	2
2. *D. caeneus*	1	1	4	4	–(1)	–	4	3
3. *Cepora aspasia*	–	–	–	–	–	–	–	1
4. *Appias ada*	3	–	1	1	–(1)	–	2	2
5. *A. placidia*	–	1	–	–	–	–	–	–
6. *A. albina*	1	–	–	–	–	–	–	–
7. *Hebomoia leucippe*	–	–	4	–	–	–	1	–
8. *Catopsilia pyranthe*	1	2	3	2	2(1)	2(1)	–	–
9. *C. crocale*	8	8	2	5	3	2(1)	–	3
10. *C. pomona*	1	–	–	–	–	–	–	–
11. *C. scylla*	–	–	2	2	1(5)	–(1)	–	1
12. *Eurema brigitta*	–	1	1	2	–(6)	–	–	–
13. *E. hecabe*	7	8	14	11	5(1)	1(1)	2	3
14. *E. alitha*	3	2	11	7	2(1)	1	2	2
15. *E. blanda*	8	5	–	–	–	–	1	–
16. *E. candida*	6	5	19	12	5	6(1)	1	3
17. *Gandaca harina*	1	1	–	–	1	1	1	1

	Numbers of individuals							
	26.XII. 1972 -2.I. 1973. Dry season		4-10. VIII. 1974 Wet season		27. IV-1.V., 6-8.V. 1980 D.s.→W.s.		6-14.,21-26.X. 1984 W.s.→D.s.	
Danaidae	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
1. *Idea idea*	5	3	6	3	1	–	1	1
2. *Nasuna ismare*	9	7	–	1	1(1)	–	–	–
3. *Salatura philene*	14	6	6	4	15(3)	6(3)	4	5
4. *Radena juvenda*	6	9	7	10	4(7)	9(7)	3	–
5. *Parantica cleona*	6	5	9	6	1	–	2	2
6. *Euploea climena*	6	4	5	4	–(5)	3(1)	–	–
7. *E. batesi*	2	1	–	–	–	–	–	1
8. *E. alcathoe*	4	1	–	–	–	1(1)	–	–
9. *E. algea*	6	4	3	2	–(4)	–(1)	–	1
10. *E. sylvester*	1	–	–	–	–	–	–	–
11. *E. phaenareta*	2	–	–	2	1(3)	1(2)	2	–
12. *E. leucostictos*	3	2	5	5	–(2)	3(1)	4	1
13. *Tellervo assarica*	–	–	–	–	–(1)	–	–	–
Nymphalidae								
1. *Cupha crameri*	3	2	1	–	–	–	2	–
2. *C. lampetia*	2	–	–	–	1	–	2	–
3. *Vagrans egista*	3	–	–	1	–	1	–	–
4. *Vindula arsinoe*	1	–	–	–	2(1)	–	1	–
5. *Cethosia biblis*	–	1	4	1	–	–	1	2
6. *C. chrysippe*	2	1	–	–	2(1)	1	–	2
7. *Precis hedonia*	5	4	10	2	6	2	–	1
8. *P. villida*	–	–	–	–	–	–	1	4
9. *P. orithya*	3	3	–	–	1	–	–	–
10. *P. erigone*	1	–	–	–	–(1)	–	–	–
11. *P. atlites*	–	1	–	–	–(1)	–	–	–
12. *Symbrenthia hyppoclus*	1	–	–	–	–	–	–	–
13. *Yoma sabina*	1	2	–	–	–	–(1)	–	1
14. *Hypolimnas antilope*	2	1	7	–	3	–	8	–
15. *H. alimena*	–	–	–	–	–	1(2)	2	–
16. *H. bolina bolina*	12	5	4	1	4(3)	–	4	–
17. *H. b. lisianassa*	1	2	–	–	1	–	1	2
18. *H. missipus*	–	–	–	–	1	–	–	–
19. *H. pandarus*	2	1	–	–	10(2)	2(1)	–	–

	Numbers of individuals							
	26.XII. 1972 -2.I. 1973. Dry season		4-10. VIII. 1974 Wet season		27. IV-1.V., 6-8.V. 1980 D.s.→W.s.		6-14.,21-26.X. 1984 W.s.→D.s.	
Nymphalidae	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
20. *Cyrestis thynneus*	–	–	–	–	–	–	1	–
21. *Pantoporia venilia*	2	1	10	8	–(3)	–(1)	6	5
22. *Phaedima amphion*	2	2	5	2	1(2)	–(1)	1	1
23. *Parthenos sylvia*	–	–	–	4	–	–(2)	–	–
24. *Polyura pyrrhus*	–	1	–	–	–	–	–	–
Satyridae								
1. *Mycalesis terminus*	9	2	24	7	15(7)	2(1)	3	–
2. *M. perseus*	–	–	3	–	–	1	–	–
3. *M. sirius*	1	–	–	2	–	–	1	–
4. *Orsotriaena medus*	2	–	–	–	5	–	1	1
5. *Melanitis leda*	–	1	2	3	–	–	–	–
6. *M. constantia*	–	–	–	1	–	–(3)	–	–
7. *Ypthima pussila*	–	–	1	1	–	–	–	–
8. *Elymnias vetellia*	1	–	–	–	–	–	1	–
Amathusiidae								
1. *Taenalis urania*	1	2	8	1	6	1	8	5
Lycaenidae								
1. *Bindahara phocides*	–	1	–	–	–	–	–	–
2. *Hypolycaena sipylus*	–	1	–	–	1	–	–	–
3. *Danis danis*	–	1	–	–	–	–	–	–
4. *D. cyanea*	1	–	4	3	–	–	–	–
5. *Syntarucus plinius*	–	–	1	–	–	–	–	–
6. *Lampides boeticus*	–	1	–	–	–	–	–	–
7. *Euchrysops cnejus*	1	–	–	–	2	2	–	–
8. *Catochrysops strabo*	–	1	1	–	–	–	–	–
9. *Nacaduba tristis*	1	–	–	–	–	–	–	–
10. *Ionolyce helicon*	–	–	–	–	–	–	1	–
11. *Prostas nora*	–	–	–	–	–	–	1	–
12. *P. pia*	–	–	–	–	2	–	–	–
13. *Catopyrops ancyra*	–	–	–	–	–(1)	–	–	–
14. *Jamides bochus*	–	–	–	1	–	–	–	–

	Numbers of Individuals							
	26.XII. 1972 -2.I. 1973. Dry season		4-10. VIII. 1974 Wet season		27.IV-1.V., 6-8.V. 1980 D.s.→W.s.		6-14.,21-26.X. 1984 W.s.→D.s.	
Lycaenidae	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
15. *J. alecto*	–	–	3	–	–(1)	–(1)	–	–
16. *J. butleri*	6	2	10	1	16(1)	7	4	–
17. *J. aratus*	9	6	6	7	4	5	3	2
18. *J. euchylas*	4	1	3	1	2	1	8	3
19. *Zizina otis*	–	–	1	1	1(1)	–	–	–
20. *Zizula hylax*	–	1	–	–	–	–	–	–
21. *Philiris philotas*	–	–	–	1	2	–	–	–
22. *Ph. ilias*	–	1	1	–	1	–	–	–
23. *Eupsychellus dionisius*	3	–	2	–	3(1)	3(1)	–	–
24. *Spalgis epius*	–	–	–	–	1	–	–	–
25. *Militus boisduvali*	–	–	–	–	–	–	4	–
26. *M. leos*	9	5	10	7	3(1)	6(1)	4	6
Hesperiidae								
1. *Allora doleschallii*	–	–	–	–	1	–	–	–
2. *Hasora taminatus*	1	–	–	–	–	–	–	–
3. *H. hurma*	–	1	–	1	–	–	–	–
4. *Tagiades japetus*	–	–	6	5	2(2)	2	–	–
5. *T. nestus*	3	–	1	2	–	–	–	–
6. *Potanthus taxilus*	3	–	–	–	–	1	–	1
7. *Arrhenes marnas*	3	–	4	–	2	2	5	2
8. *Cephrenes augiades*	1	–	1	–	–	–	2	–
9. *C. Mosleyi*	–	–	1	2	–	–	–	–

Summary

In this report, fourteen species were recorded from Ambon I., Indonesia. *Precis villida villida* was recorded for the first time from this island. The result of my collections was summarized in Table 1.

参 考 文 献

COMMON, I. F. B. & D. F. WATERHOUSE, 1972. Butterflies of Australia. Augus & Robertson, Sydney.

CORBET, A. S. & H. M. PENDLEBURY, 1978. The Butterflies of the Malay Peninsula, Ed. 3. revised by J. N. ELIOT. xiv+578 pp. Malayan Nature Society. Kuala Lumpur, Malaysia.

D'ABRERA, B., 1971. Butterflies of the Australian Region. Randsowne Melboune.

FLEMING, W. A., 1975. Butterflies of West Malaysia and Singapore. 2. E. W. Classey, London.

FRUHSTORFER, H., 1910－1926. *In* SEITZ, Macrolepid. World, **9**: 119－284, 453－1026. Alfred Kernen, Stuttgart.

JORDAN, K., 1908－1909. *In* SEITZ, Macrolepid. World, **9**: 11－109. Alfred Kernen, Stuttgart.

日浦 勇, 1983. リュウキュウムラサキの考察. ちょうちょう, **4**（1）: 2－36.

加藤信一郎, 1973. 原名亜種の島アンボン. やどりが, **75**: 11－16.

———— 1974. アンボン島（インドネシア）のキチョウ属とムモンキチョウ属 — エサキキチョウに関する報告を加えて. 蝶と蛾, **25**: 69－72.

———— 1976. アンボン島（インドネシア）で採集したシロチョウ. *ibid.*, **27**: 59－65.

———— 1977. アンボン島（インドネシア）で採集したアゲハチョウ. *ibid.*, **28**: 1－7.

———— 1978. アンボン島（インドネシア）で採集したタテハチョウ. *ibid.*, **29**: 77－87.

———— 1979. アンボン島（インドネシア）で採集したマダラチョウ. とくに *climena-melina* Complex について. *ibid.*, 30: 116－122.

———— 1980. アンボン島（インドネシア）で採集したジャノメチョウとメダマチョウ. *ibid.*, **30**: 239－244

———— 1981. ホリデー イン カマリアン — セラム島紀行. ちょうちょう, **4**（1）: 28－47.

———— 1982. アンボン島（インドネシア）に採集したシジミチョウ. 蝶と蛾, **32**: 193－202.

———— 1983. アンボン島（インドネシア）で採集したセセリチョウ. *ibid.*, **33**: 162－167.

———— 1986. 小カイ島（インドネシア）で採集したチョウ. *ibid.*, **36**: 191－202.

川副昭人・若林守男, 1976. 原色日本蝶類図鑑. 保育社, 大阪.

森下和彦, 1976. リュウキュウムラサキ. やどりが, 85・86: 3－25.

———— 1977. 東洋のルリマダラ属. ちょうちょう, **2**（2）. 元々社, 北九州市.

白水隆, 1960. 原色台湾蝶類大図鑑. 保育社, 大阪.

塚田悦造・西山保典, 1980. 図鑑東南アジア島嶼の蝶. vol. 1. アゲハチョウ編. プラパック, 東京.

塚田悦造, 1985. 図鑑東南アジア島嶼の蝶, vol. 4（上）. タテハチョウ編. プラパック, 東京.

矢田 脩・森下和彦, 1981. 図鑑東南アジア島嶼の蝶, vol. 2. シロチョウ・マダラチョウ編. プラパック, 東京.